



GIR国際共同研究 の 指針と体制 (2023年度)



Institute of Global Innovation Research

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY



Institute of Global Innovation Research

学長 ビジョン

戦略2

研究連携による新機軸の創成

- 国際共同研究拠点Global Research Hubの設置
- 外国人教員の継続的採用と国際共同研究ネットワークの拡張
- 質の高い研究成果の発信と知的財産の創成・活用

戦略4

自立化を推進するガバナンスと経営基盤強化

- 国際的な知の共有化拠点の形成
- プライベートセクターからの戦略的な資金導入に基づく持続的な「経営資源」の確保





Institute of Global Innovation Research

これまでのGIR国際共同研究体制

国際共同研究の進捗段階

(萌芽) → (継続) → (発展)

戦略的研究チーム

分野G・分野融合拠点
(現GRHユニット)



■ 戦略的研究チーム

雇用報酬体制、滞在環境と事務体制を整え、著名な外国人研究者を招聘し、本学教員との関係構築を支援している。

■ 分野G・分野融合拠点

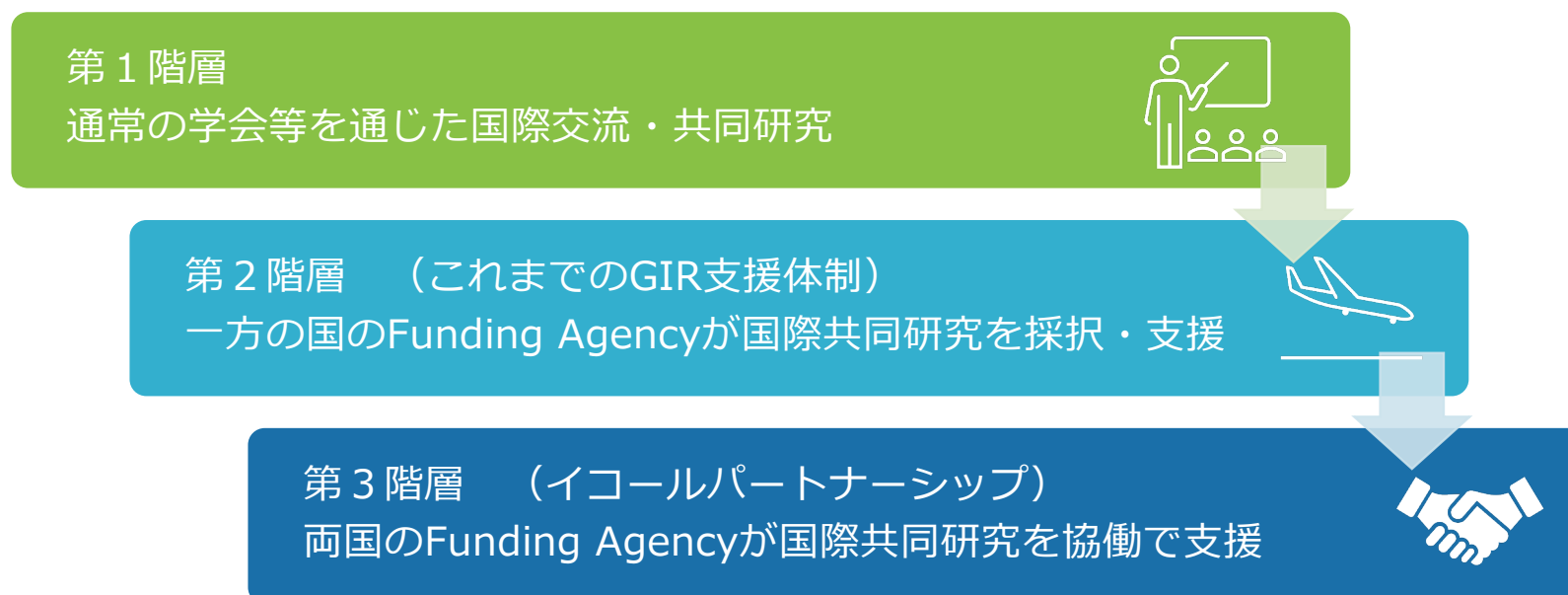
チーム活動後のステージとして設置し、国際共同研究の継続と発展を試みたが、実質的にはチーム後の研究関係維持が主となっていた。

■ GRHユニット (2022年度)

拠点形成・外部資金獲得を目的としたボトムアップ型の活動単位として、分野G・分野融合拠点をGRHユニットに再編したが、目標設定に温度差がある。



国際共同研究の階層と推進形態に対する見解



相手国との関係、特に出資状況によって上記3階層に区分しており、文科省関係予算では各階層に応じての事業が展開されている。

→今後、外国人研究との関係を継続する上では、**本学教員自身の相対的なプレゼンス向上**と共に、**イコールパートナーシップ**への移行と意識付けが必要。



今後の方針

■ 戦略的研究チーム（新規・継続）

- これまで通り著名な外国人研究者との関係構築を支援。ただし、**国際共同研究の萌芽と発展**を目的とし、以前同様の関係維持をする場合は支援対象としない。
- 双方の研究当事者の退官・退職による関係の自然消滅を危惧しており、双方の若手研究者（※40歳未満）の参画による**次世代への継承**が必要と考える。（若手研究者への支援も含め）
- 継続段階においては**海外派遣による本学教員のプレゼンス向上**を意識する。

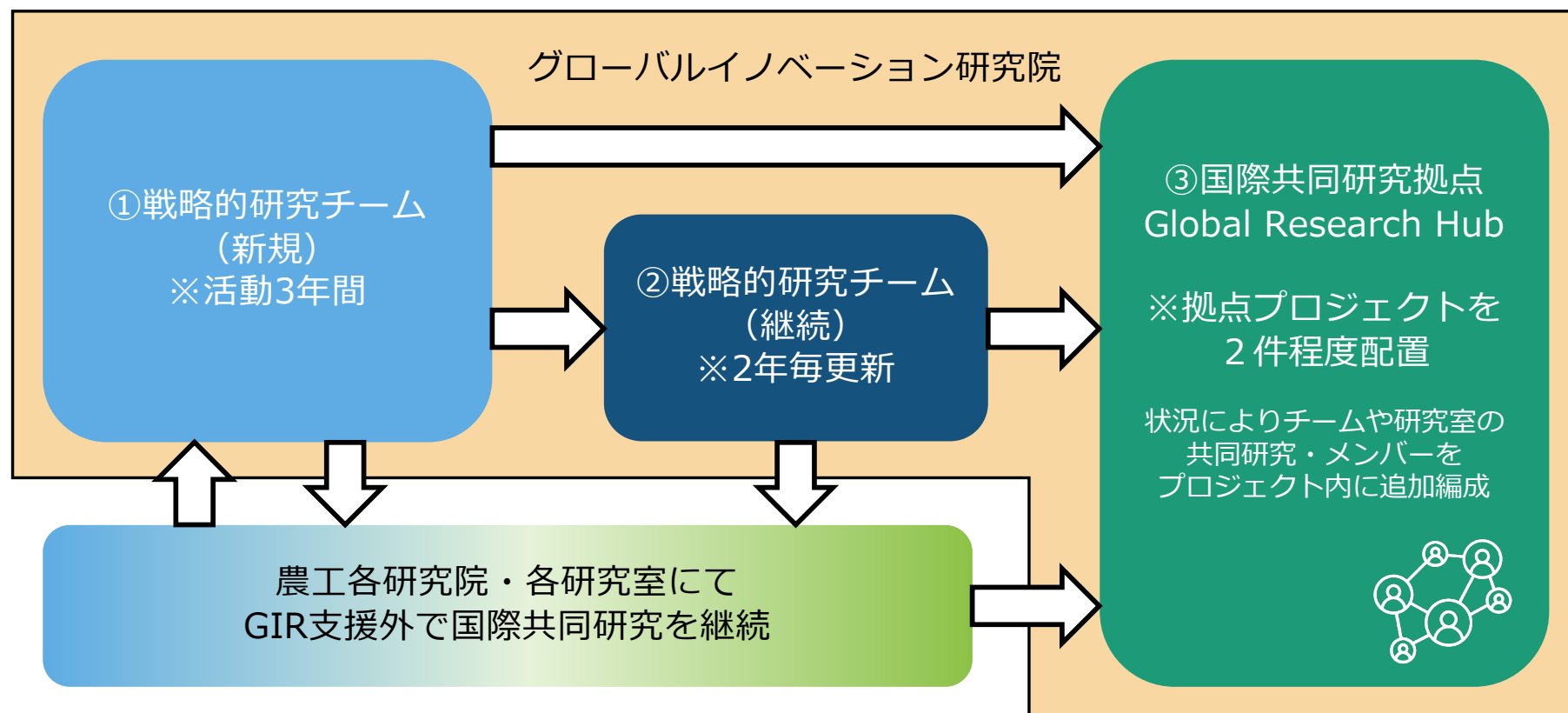
■ 国際共同研究拠点Global Research Hub

- 重点3分野に限らず、国際共同研究拠点の研究テーマ・メンバーを検討中。公募提案ではなくトップダウンでGRH内に**拠点プロジェクトを設置し、重点的に支援**を行う。
 - 国際共同研究に係る外部資金（WPIプログラム、JSPS研究拠点形成事業など）の獲得を支援する。
- これらを踏まえ、**支援の「選択と集中」**を行う。



Institute of Global Innovation Research

今後のGIR国際共同研究体制





①戦略的研究チーム（新規）

- 趣旨・目的 世界的に影響力のある著名な外国人研究者との関係構築と国際共同研究の萌芽
 - 選定方法 毎年度実施の公募による
 - 活動期間 3年間（更新なし）

 - 支援条件
 - ・新規の外国人研究者を主要PIに据えた共同研究推進を中心とする。
 - ・スーパー教授及び若手研究者*の編成は必須ではないが奨励（加点評価）

*若手研究者：2023年4月1日時点において40歳未満である本学教員をいう。
 - 支援内容
 - ・新規外国人研究者の来日招聘（報酬・旅費・滞在費負担、事務手続き）

※ただし、航空券は座席クラスを変更（ビジネス → プレミアムエコノミー、エコノミー）

※止むを得ない場合、来日招聘の代替として本学教員の相手国機関への海外派遣費用も支援対象とする。

 - ・チーム研究基盤経費の配分
-
- 備考 昨年度実施の公募と同様の内容とする。



②戦略的研究チーム（継続）

- 趣旨・目的
 - ・ 質の高い国際共著論文の創出
 - ・ 若手研究者の国際共同研究への参画奨励
 - ・ 国際共同研究関係の次世代への継承
- 選定方法 新規・継続チーム活動終了後、希望する場合にGIR運営委員会が審議する。
(今回は今年度末活動終了予定チームと現GRHユニットに意向確認予定)
- 活動期間 2年間（2年毎に更新審査を実施）
- 支援条件
 - ・ 既存の外国人研究者を主要PIに据えた共同研究継続を中心とする。
 - ・ 若手研究者*の編成を必須とする。 *若手研究者：2023/4/1時点で40歳未満である本学教員をいう。
 - ・ 活動中のKPI “国際共著論文 6報/年” 且つ “Q1ジャーナル投稿 3報/年”
- 支援内容
 - ・ 既存外国人研究者の来日招聘
※ただし右表のとおり支出負担を縮小する。
 - ・ ポスドク・博士後期課程学生の海外派遣・来日招聘経費
 - ・ チーム研究基盤経費は配分なし

費用負担区分	給与	滞在費(宿泊費込)	宿泊費	旅費航空券
60歳以上	×	○ (18,000円/日)	×	○ (ビジネス)
60歳未満かつ 1ヶ月以上滞在	○	×	○	○ (ブレエコ・エコノミー)
60歳未満かつ 1ヶ月未満滞在	×	○ (18,000円/日)	×	○ (ブレエコ・エコノミー)

③国際共同研究拠点Global Research Hub



Institute of Global Innovation Research

■趣旨・目的

国際的な頭脳循環拠点となるプロジェクトの基盤形成・設置・推進（重点3分野に限らず）

■選定方法

- ・GIR運営委員会(及び研究推進委員会)が研究テーマ・メンバー等を検討し、設置する。
- ・メンバー追加変更等はプロジェクトリーダーの意向に基づきGIR運営委員会が承認する。

■活動期間 活動期間は定めない。

■活動条件 本学の世界的なプレゼンス向上に資する国際的な頭脳循環拠点

■支援内容

主に下記のような支援内容を検討。

- ・頭脳循環拠点において重要な役割を担う外国人PIの来日招聘費用と手続き
- ・外国人PIのブランチャラボ運営経費（スペース費用、ポスドク・補佐員の人件費 等）
- ・海外サテライト研究拠点経費の補填（現地で支出できず、本学が支出可能な内容に限る）
- ・ポスドク・博士後期課程学生の海外派遣・来日招聘経費 他

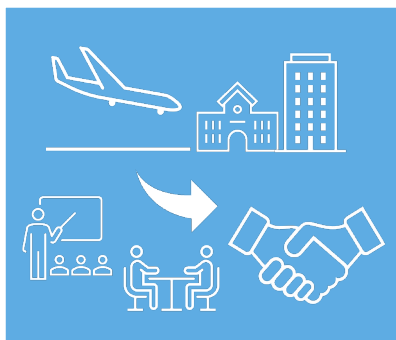
ただし、必要事項を個別に支援する方針とし、原則として支援は流動的なものとする。



Institute of Global Innovation Research

今後の外国人研究者等の雇用・招聘

新規チーム外国人研究者



趣旨：国際共同研究関係の新規構築

- ・給与（1ヶ月以上の雇用）
- ・謝金（1ヶ月未満の招聘）
- ・赴任旅費
- ・本学宿舍 / ホテル宿泊費

※本項目がこれまでの実施支援。これに追加して今後は右記の別パターンも実施する。

継続チーム外国人研究者



趣旨：質の高い研究成果創出を目的とした共同研究継続

- (1)60歳未満 かつ 1ヶ月以上
- ・GIR職位に応じた給与
- ・赴任旅費
- ・本学宿舍 / ホテル宿泊費
- (2)上記以外の場合
- ・往復旅費
- ・滞在費
- （宿泊費込・18,000円/日）

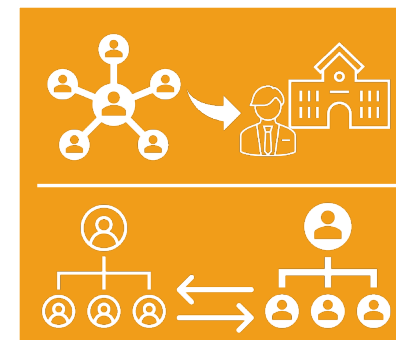
GHR拠点外国人研究者



趣旨：拠点PI及び訪問研究員

- (1)雇用（拠点PI）
- 常勤 / クロアポ / 非常勤
- (2)短期滞在招聘
- （拠点PI / 訪問研究員）
- GIR職位を有する場合は新規チームでの扱いに準ずる。

ポスドク/博士学生(共通)



趣旨：若手研究者参画奨励、国際共同研究関係の継承 等

- (1)雇用
- 拠点の外国人PIラボに常駐する非常勤ポスドク 等
- (2)短期滞在招聘
- ・往復旅費
- ・滞在費
- （宿泊費込・18,000円/日）



①～③まとめ

活動単位	戦略的研究チーム（新規）	戦略的研究チーム（継続）	Global Research Hub
趣旨・目的	・新規外国人研究者との関係構築 ・国際共同研究の萌芽	・質の高い国際共著論文の創出 ・若手研究者の国際共同研究への参画奨励 ・国際共同研究関係の次世代への継承	国際頭脳循環拠点の基盤形成・設置・推進（重点3分野に限らず）
活動期間	3年間（更新なし）	2年間毎に更新	期間を定めない
選定方法	毎年度公募を実施	チーム活動終了時の継続意向に基づき審議（今回は今年度末活動終了予定チームと現GRHユニットが対象）	GIR運営委員会（及び研究推進委員会）が検討・設置
条件	・ 新規 外国人研究者中心 ・S教授と若手研究者を奨励（必須条件ではない）	・ 既存 外国人研究者中心 ・若手研究者 編成必須 ・論文KPI（国際共著 6/年&Q1ジャーナル 3/年）	本学の世界的なプレゼンス向上に資する国際的な頭脳循環拠点
支援内容	・新規外国人研究者の来日招聘（※本学教員の海外派遣費用） ・チーム研究基盤経費	・外国人研究者来日招聘（支出負担縮小） ・ポスドク・博士後期課程学生の海外派遣・来日招聘経費 ・チーム研究基盤経費は 配分なし	原則としてプロジェクトに必要な事項を個別に支援する方針とし、流動的な支援を行う。
支援金額	外国人研究者 人件費旅費滞在費 500万 チーム研究基盤経費 50万	外国人研究者 人件費旅費滞在費 300万	3,000万
備考	・海外派遣（教員・ポスドク・博士後期課程学生）は別途実施のGIR支援制度にて個別対応する。 ・海外のポスドク・博士後期課程学生の来日招聘支援については新規のGIR支援制度を検討予定。		